

【注意事項】

R20TS0408JJ0100

Rev.1.00

e² studio Code Generator プラグイン

2019.03.16 号

概要

タイトルに記載している製品の使用上の注意事項を連絡します。

1. リンカオプション設定の保存に関する注意事項

1. リンカオプション設定の保存に関する注意事項

1.1 該当製品

- e² studio V6.2.0(Code Generator プラグイン V2.10.0)以降の Renesas CC-RL C Executable Project

1.2 該当 MCU

- RL78 ファミリ :

RL78/D1A、RL78/F12、RL78/F13、RL78/F14、RL78/F15、RL78/F1E(*)、
RL78/G10、RL78/G11、RL78/G12、RL78/G13、RL78/G14、RL78/G1A、RL78/G1C、RL78/G1D、
RL78/G1E、RL78/G1F、RL78/G1G、RL78/G1H、
RL78/H1D、RL78/I1A、RL78/I1B、RL78/I1C、RL78/I1D、RL78/I1E、
RL78/L12、RL78/L13、RL78/L1A、および RL78/L1C グループ

(*) : e² studio V7.0.0 以降でサポート

1.3 内容

該当製品で以下のいずれかの周辺機能の設定を行うと、コード生成時にリンカオプションに設定が反映されます。しかし、反映したリンカオプション設定はプロジェクトと共に保存されません。このため、プロジェクトを再読み込み後にコード生成をせずに再ビルドを行った場合、リンカオプションの設定が無効となっているため、意図したオブジェクトファイルが生成されません。

- 周辺機能設定

- ・クロック発生回路→(*)クロック設定
- ・クロック発生回路→オンチップ・デバッグ設定
- ・クロック発生回路→データ・フラッシュ
- ・ウォッチドッグ・タイマ
- ・電圧検出回路

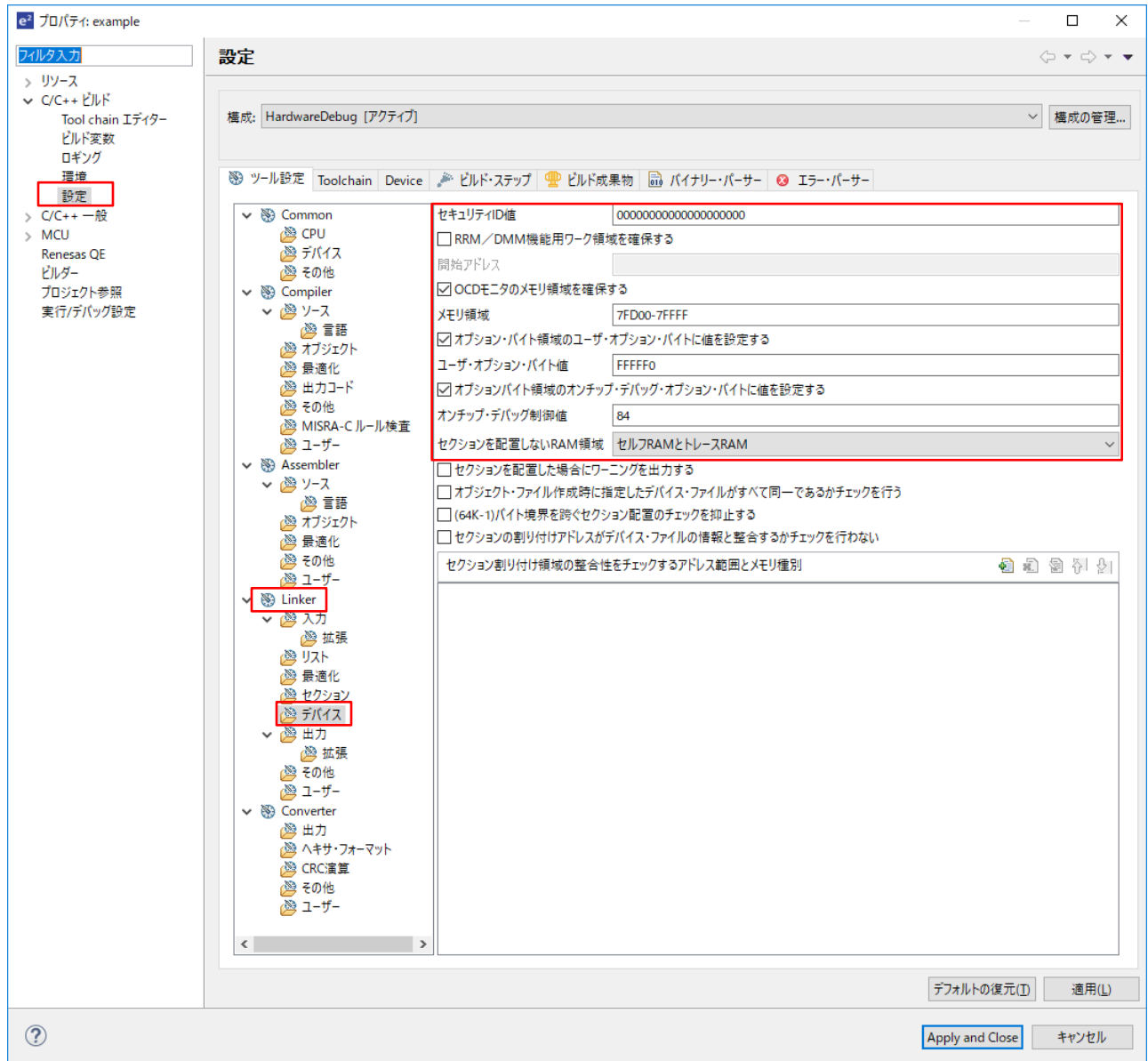
(*) : →はクロック発生回路に含まれるタブの選択項目を意味します。

- リンカオプション設定 (操作方法 : Linker→デバイス後の設定)

- ・セキュリティ ID 値
- ・RRM/DMM 機能用ワーク領域を確保する→開始アドレス
- ・OCD モニタのメモリ領域を確保する→メモリ領域
- ・オプション・バイト領域のユーザ・オプション・バイトに値を設定する→
ユーザ・オプション・バイト値

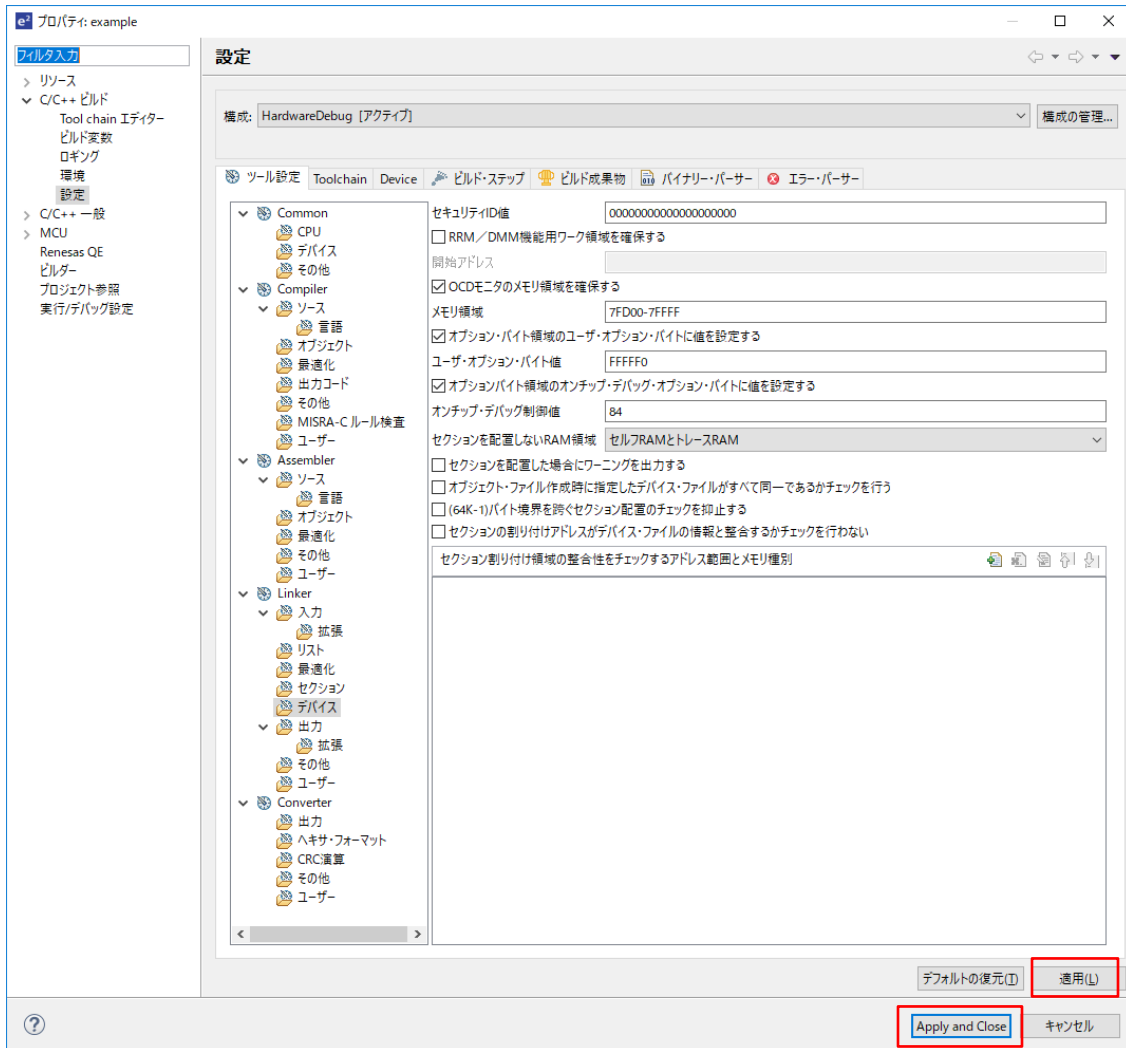
- ・ オプションバイト領域のオンチップ・デバッグ・オプション・バイトに値を設定する→
オンチップ・デバッグ制御値
- ・ セクションを配置しないRAM 領域

➤ RL78/G14 の「プロパティ」のリンカオプション設定画面例



1.4 回避策

コード生成時に反映されたリンカオプション設定を保存するため、プロジェクトを閉じる前に、リンカオプションの設定を以下ウィンドウ画面の [適用(L)]→[Apply and Close]の順に保存してください。



1.5 恒久対策

今後のバージョンで改修予定です。(2019年7月予定)

以上

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	Mar.16.19	-	新規発行

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

本社所在地

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

www.renesas.com

お問合せ窓口

弊社の製品や技術、ドキュメントの最新情報、最寄の営業お問合せ窓口に関する情報などは、弊社ウェブサイトをご覧ください。

www.renesas.com/contact/

商標について

ルネサスおよびルネサスロゴはルネサス エレクトロニクス株式会社の商標です。すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。